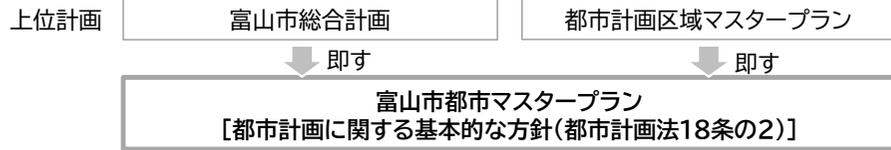


# 第5回富山市都市マスタープラン検討委員会資料

(次期都市マスタープラン(素案)の概要について)

# 1 計画期間等

- 対象区域 市全域を対象(都市計画区域を重点的に扱う)
- 目標年次 2045年(令和27年)
- 位置づけ 都市マスタープランは、都市計画法に基づき、将来のまちの姿を見据えた、土地利用や道路・公園などの都市施設の配置、市街地の整備・改善に関する基本的な方針を示すもの。この計画は、「富山市総合計画」と県が定める「都市計画区域マスタープラン」と整合を図りながら、市全体の都市計画の方向性を定める。



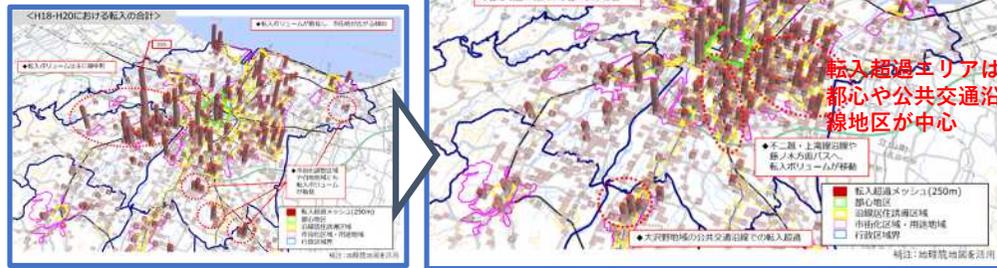
# 2 現状認識

## (1) コンパクトなまちづくりの成果

- ・市街地外延化の抑制
- ・公共交通利用者の維持・増加
- ・市民の意識醸成

### <転入超過エリアの変化>

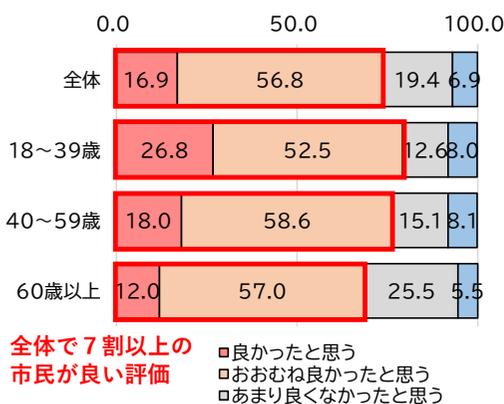
転入超過エリアが郊外に多く、市街地が外延化



### <公共交通利用者の推移>



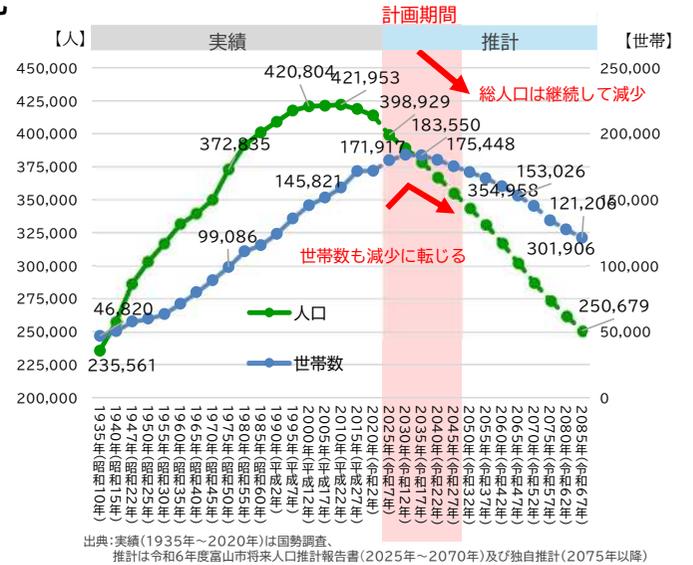
### <コンパクトなまちづくりの市民評価>



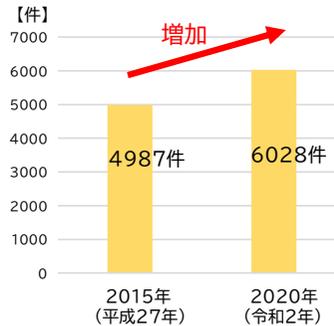
## (2) 今後の予測

- ・人口減少の本格化と世帯減少への転換
- ・“まばら”になる市街地
- ・車利用に偏った生活の継続
- ・膨張する都市管理コスト
- ・市民意識と生活行動の変化

<人口と世帯数の実績と将来推計>



### <空き家の変化(全市)>



## (3) 現状認識

コンパクトなまちづくりにより、持続可能で魅力ある“まち”への転換は進みつつあるが、本格的な人口減少時代はこれからが本番であり、“まち”が抱える課題は複雑化・深刻化するおそれ

公共交通の持続性が低下し、極めて生活しづらい“まち”へ

- ・人口減少に伴う利用者の減少
- ・運転手等の担い手不足
- ・運行管理コストの上昇

“まばら”な市街地と“まち”の老朽化による生活環境の悪化

- ・空き地・空き家の急増
- ・社会インフラの老朽化
- ・人口減少に伴う財政力の低下

拠点性の低下による都市全体の活力と魅力の喪失

- ・DXの進展等による外出機会の減少
- ・車利用を中心として市民生活
- ・都市機能の撤退に伴う利便性の低下

社会情勢の変化等による都市環境の変化

- ・激甚化・頻発化する自然災害
- ・働き方・暮らし方の多様化
- ・市民の価値観の変化

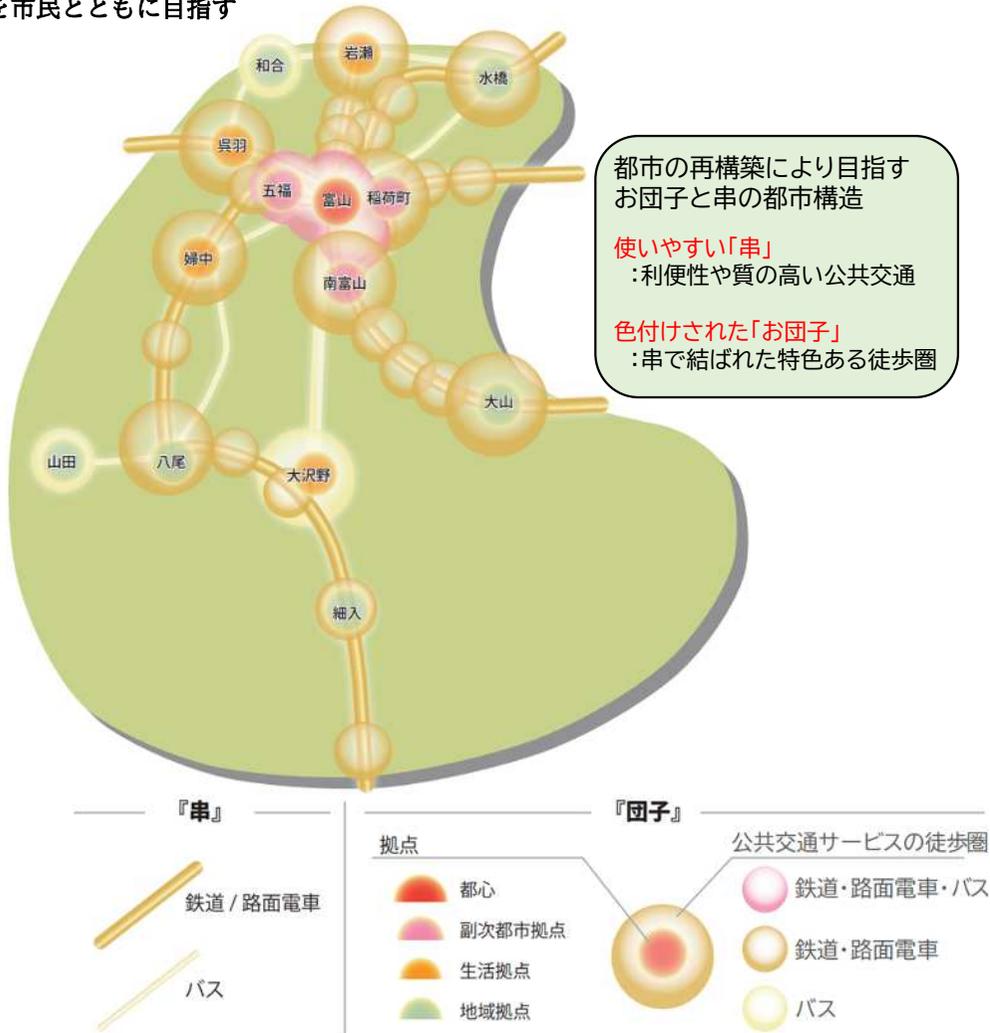
(1) まちの目標

- ① 車を使わなくても安心・快適な暮らしを実感できるまち
- ② 市民のライフステージ等に応じた多様な住まい方が選択できるまち
- ③ 地域の個性が発揮された拠点集中型のまち
- ④ 持続可能で災害に強い、安全・安心のまち
- ⑤ 豊かな自然を守り育てる、環境に優しいまち

(2) 将来都市構造

■お団子と串の都市構造

公共交通の活性化と、その沿線に居住や都市機能の集約を図るコンパクトなまちづくりを継続し、地域の資源を活かして魅力を最大化する拠点形成や既成市街地の利活用により、『公共交通を軸とした都市の再構築による拠点集中型のコンパクトなまちづくり』の実現を市民とともに目指す



(3) まちづくりの基本方針（4本柱）

①まちづくりの基軸となり多面的な価値をもたらす「公共交通の活性化」

本市のまちづくりの最大の特徴は、恵まれた公共交通網の活性化を、コンパクトなまちづくりの基本方針として位置付けている点にあります。公共交通は単なる移動手段にとどまらず、健康増進や環境負荷の低減、地域経済の活性化など、多面的な価値を有しています。今後も、公共交通を本市のまちづくりの基軸と位置づけ、交通事業者や関係機関との連携・協力のもと、多面的な価値をもたらす持続可能な公共交通の活性化を推進します。



路面電車の南北接続

②市民が公共交通利用を意識した居住地選択ができる「公共交通志向型居住の推進」

本市が目指すまちづくりでは、郊外居住だけでなく、公共交通沿線など、公共交通の利用を意識した居住地の選択ができる環境を市民に提供し、長期的に都市がコンパクト化していく方向へと誘導します。しかし、公共交通沿線では既に市街化が進んでおり、新たな宅地供給が比較的容易な郊外部と競える状況にはなく、人口の外延化が懸念されます。そこで、既成市街地における低未利用地の活用や市街地環境の改善、公共交通志向圏域の設定に基づく土地利用コントロールにより、公共交通を活かした居住環境を整備し、公共交通利用を志向する住まい方への転換を推進します。



公共交通志向型のライフスタイル (東富山駅東口)

③地域の資源を活かして魅力を最大化する「中心市街地をはじめとした拠点の形成」

『お団子と串の都市構造』の実現に向けては、拠点となる「お団子」の魅力向上が不可欠です。このため、都心地区では広域的な拠点としての機能を発揮するため、質の高い生活環境や豊かな都市活動の創出、さらに都心コアにおける都市リノベーションを推進します。また、各地域生活圏域の拠点においても、現存する機能や産業、観光、自然、文化などの資源を活かし、地域の個性と特色を発揮することで、市民生活や都市活動が展開される拠点形成を進め、富山市全体としての都市の活力創出を図ります。



都市部でのイベント

④人口減少下における道路・土地・建物などの総合的な「都市マネジメントの推進」

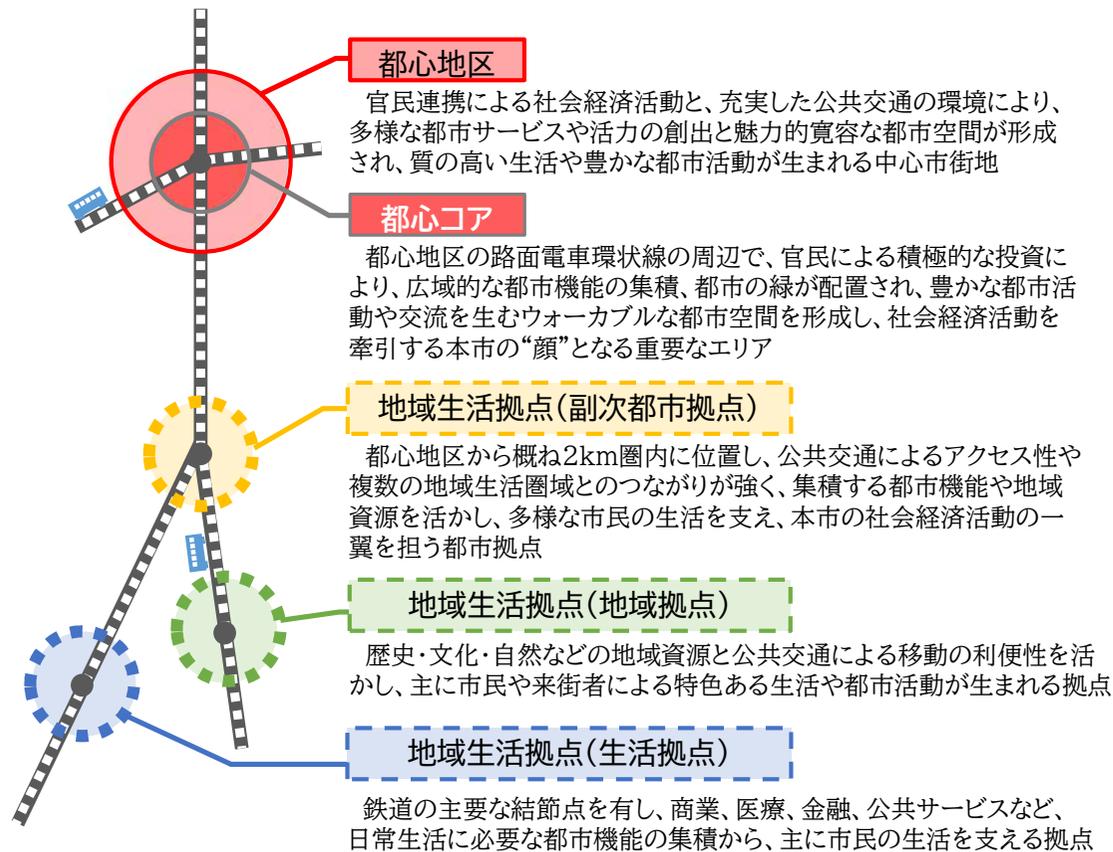
コンパクトなまちづくりを進めるにあたっては、線引き都市計画区域を拡大するような規制を強化する手法は取らないものの、社会インフラの増加を伴う新たな市街地整備は極力抑制し、市街地周辺の農地や自然環境の保全を図るとともに、既成市街地の再編・利活用を前提とした都市マネジメントの推進が不可欠です。



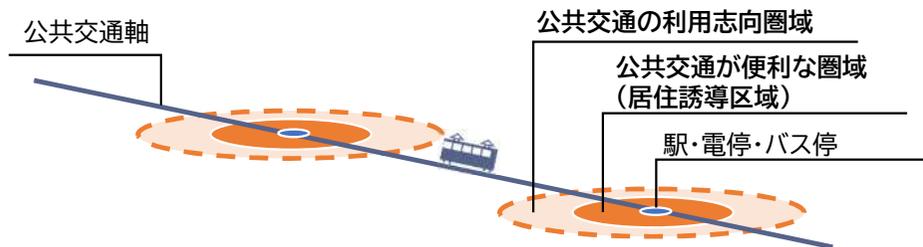
社会インフラの維持管理

## ■お団子の色付け（拠点）

14の地域生活拠点は、地域特性を踏まえ4つに分類  
都心地区の路面電車環状線周辺を「都心コア」に設定



## ■公共交通利用を志向するお団子のエリア設定



公共交通の利用志向圏域	徒歩による公共交通の利用実態がある公共交通軸の鉄軌道駅から概ね750m、バス停から概ね600mの範囲で、公共交通利用を意識した市民生活の醸成を図る圏域
公共交通が便利な圏域	都心地区と公共交通軸の鉄軌道駅から概ね500m、バス停から概ね300mの用途地域等が定められた徒歩圏で、都市の諸機能や居住を誘導する圏域(居住誘導区域を含む)

## ■串

### 1)「主要な公共交通ネットワーク」

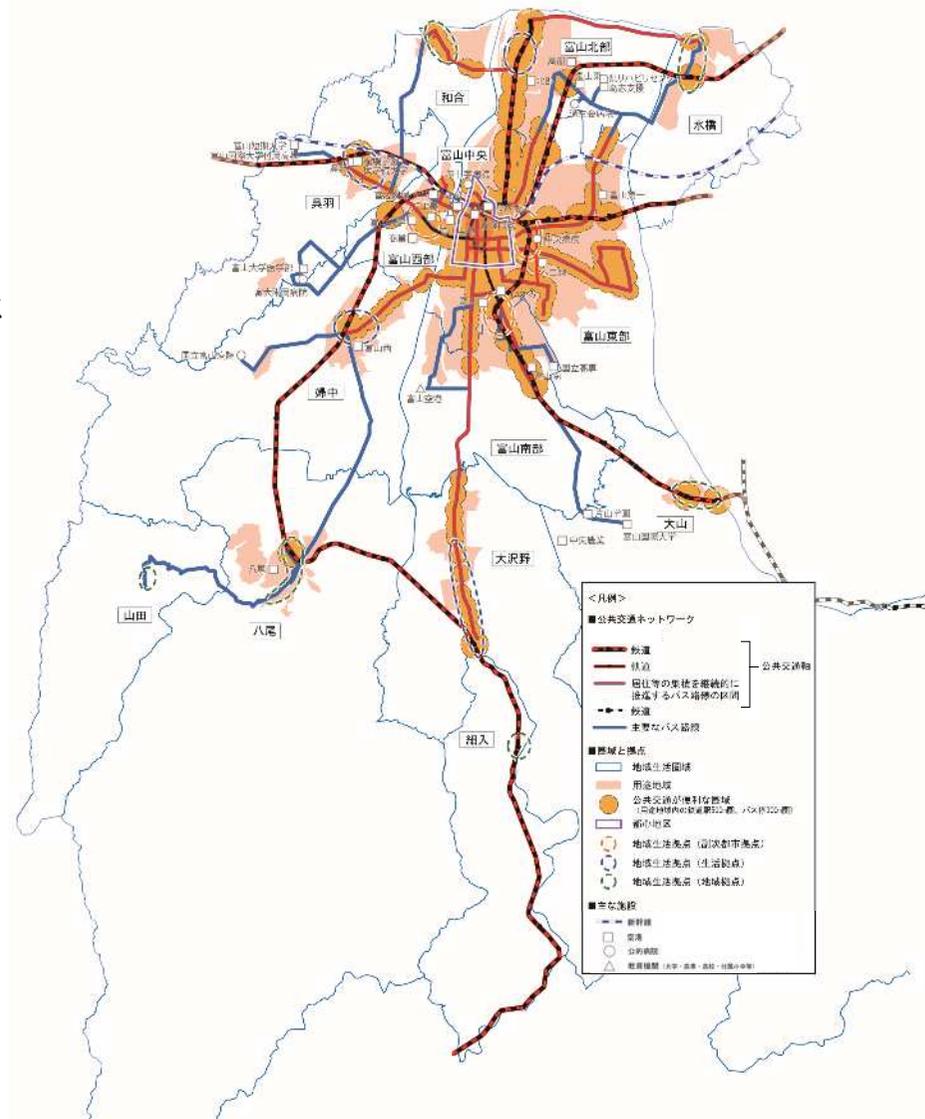
- ①全ての鉄軌道
- ②鉄軌道を補う主要なバス路線  
鉄軌道を補う公共交通であるバス路線のうち、拠点や公共交通によるアクセスが重要となる施設等を含むバス路線
  - ・都心地区と地域生活拠点、鉄軌道と地域生活拠点を結ぶバス路線
  - ・都心地区と主要な施設や市街地を結ぶバス路線

### 2)「公共交通軸」

主要な公共交通ネットワークのうち、人口や都市機能の集積などコンパクトなまちづくりを推進する公共交通の路線や区間

都市の骨格を形成し、都心と地域生活拠点とを連絡する鉄軌道路線（①の一部）

鉄軌道を補い居住や都市機能の集積を継続的に推進するバス路線の区間（②の一部）



## (4) 市民の生活像

コンパクトなまちづくりを通じて、実現を目指す市民の生活像を示しました。

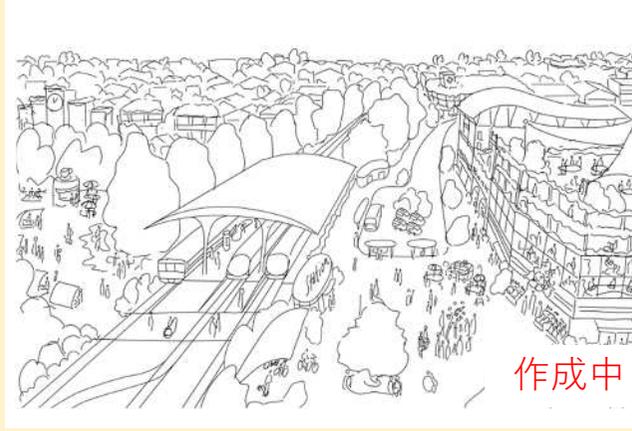
### 都心地区・都心コアの生活像



・都心地区では、富山市全域とのつながりを感じながら、創造性と賑わいに満ちた活力ある暮らしが広がっています。また、生活に必要な都市機能が集約され、緑と調和した人中心のまちで、市民は便利で快適な都市の生活を楽しています。

・都心コアを中心に、交通結節点を活かした移動のしやすさや、リノベーションによる魅力を増した建物や都市空間が、市民や来街者を惹きつけ、自然な形で交流や多様な活動が生まれ、さらに官民連携や民間の活発な投資、市民による新たな挑戦や起業へとつながっています。

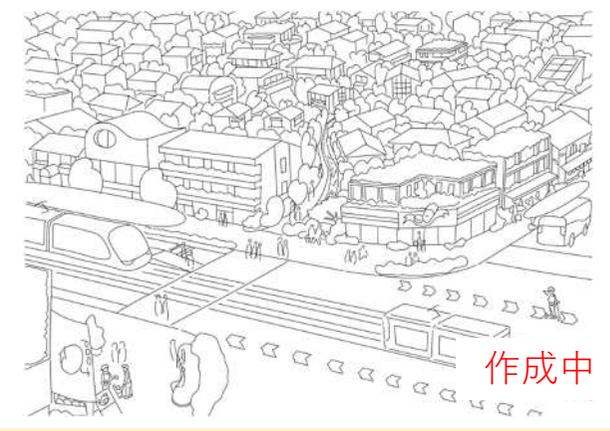
### 副次都市拠点の生活像



・副次都市拠点は、複数の公共交通が交わる便利なエリアであり、都心にも近く、さまざまな地域から市民が集まる都市の拠点です。生活に欠かせないスーパーや病院、金融機関はもちろん、学校や職場なども整い、緑豊かで歩きやすい環境も整備されています。

・また、市民や来街者の交流が生まれる施設や、災害時の重要な拠点となる施設などもあり、市民・来街者の交流や新しいチャレンジも生まれ、都心とは異なる魅力や楽しさに出会える、市民の心地よい都市の生活が広がっています。

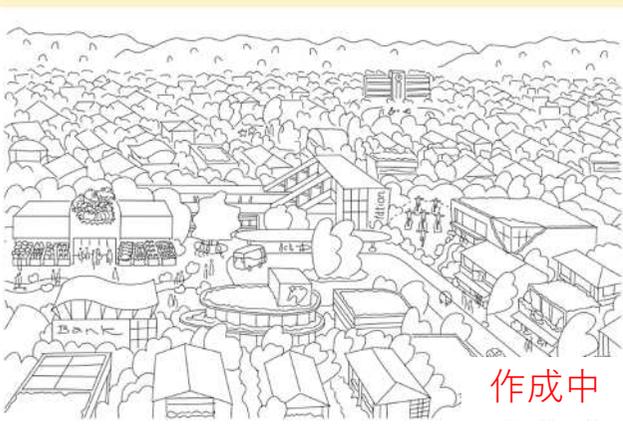
### 公共交通沿線の生活像



・市民は公共交通と徒歩を中心とした移動手段により、車がなくても快適に暮らすことができるため、こどもから高齢者まで誰もが気軽に都心地区や周辺の地域生活拠点などへ移動できます。これにより、駅を起点とした通勤・通学・買い物・余暇など、様々な場面で公共交通を活用するライフスタイルが広がっています。

・沿線には多様な世代が暮らししており、子育て支援施設や教育施設、商店や事業所などが立地しています。また、空き家や空き地は、新たな住宅や地域の広場、家庭菜園などに再生され、既存の都市機能を活かした持続可能で快適な生活が営まれています。

### 生活拠点の生活像



・生活拠点は、鉄道などの公共交通でアクセスしやすい多くの市民にとって便利な場所にあります。そこには、買い物や病院、銀行、市役所など、暮らしに欠かせない機能が集積しており、学校や職場もあるなど、複数の地域にとって「リビング」のような役割を果たしています。

・周辺に暮らす市民は、徒歩や公共交通を利用して生活拠点に訪れ、地元の新鮮な食材を手に入れたり、知人との会話を楽しんだり、気軽な飲食店でゆったりと過ごすなど、拠点での活動を通じて、市民同士がつながり、支えあう、安心感のある生活が育まれています。

### 地域拠点の生活像



・市内各地から公共交通でアクセス可能な地域拠点は、富山ならではの自然や文化が凝縮されています。山や海に近く、特徴的な風景の中で、市民や来街者に、観光やレジャー、祭り、地元の特産品などを楽しむ機会を提供しています。

・周辺に暮らす多くの市民は、四季の移ろいを感じながら農業・漁業・林業などに従事し、または地域行事に参加することで、地域の文化や生活を育んでいます。さらに、公共交通を利用して外部ともつながりを持ちながら、地域に根差した生活を送っています。

### 公共交通の沿線以外の生活像



・車の利用が中心の生活が営まれています。一方で、コミュニティバスや地域で運営されている移動手段により、主要な都市機能や公共交通へのアクセスが可能になっているほか、移動スーパーやICT技術を活用した生活支援の仕組み、地域コミュニティを主体とした共助により車が自由に使えない市民の生活が支えられています。

・特に、自然環境が身近にある集落などでは、農業・漁業・林業などの第1次産業に従事する市民も多く、これらの生産活動は自然の営みを支えるだけでなく、豊かな食や環境を供給する重要な役割を担っています。

## (5) 数値目標・モニタリング指標

### ①数値目標

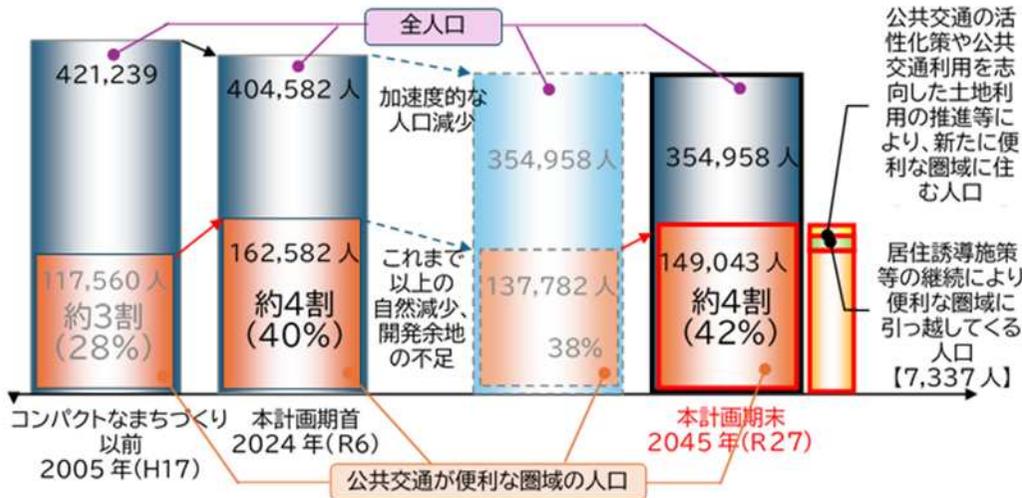
公共交通が便利な圏域に住む市民の割合～20年後に約4割以上の維持を目指す

人口集積の低下を抑制するため、既成市街地や都市ストックの利活用など、「都市の再構築」により、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりに取り組み、社会インフラの適正な維持管理が可能となる人口密度の確保を図ります。

今後、加速度的な人口減少の影響により、公共交通の便利な圏域においても人口密度の低下が見込まれますが、都心地区およびその周辺では、20年後も市街地に必要な密度である40人/ha以上を維持するとともに、公共交通が便利な圏域全体では35人/ha以上を目指します。これにより、公共交通が便利な圏域に住む人口の目標を149,043人と設定します。

また、2045年(令和27年)の本市の将来人口を354,958人と見込む中で、同年における公共交通が便利な圏域に住む市民の割合を約4割とし、その水準の維持を目指します。

#### 公共交通が便利な圏域に住む市民の割合



### ②モニタリング指標

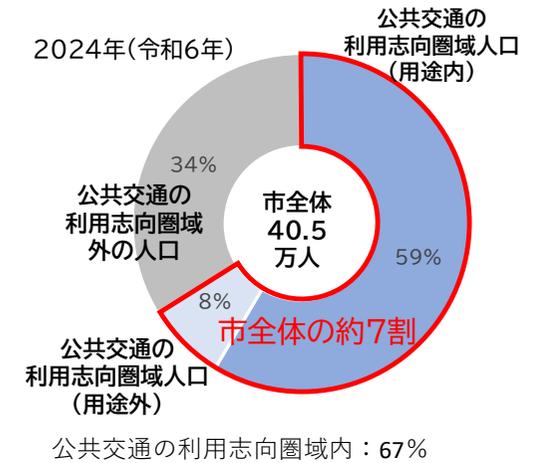
人口減少下でのまちづくりの進捗を確認するため、以下の3つのモニタリング指標を設定

モニタリング指標	目的
公共交通が便利な圏域(都心地区及び公共交通軸の徒歩圏)の人口と社会動態	公共交通が便利な圏域での転入超過の状況を把握する
公共交通の利用志向圏域に住む市民の数や割合	公共交通の利用志向圏域での人口の集積状況を把握
市全体の人口と社会動態	市全体の人口と社会動態を把握する

### <参考:モニタリング指標の現状>

#### 公共交通の利用志向圏域に住む市民の割合(現状)

- 市全体人口の約7割(うち用途地域内市民は6割)が徒歩で公共交通を利用できる範囲に居住している。
- 徒歩で公共交通を利用できる市民に対しては、自家用車から公共交通への主な移動手段の転換を促すことで、公共交通の利用者拡大を図る。



#### 公共交通が便利な圏域の社会動態(現状)



#### 市全体の社会動態(現状)

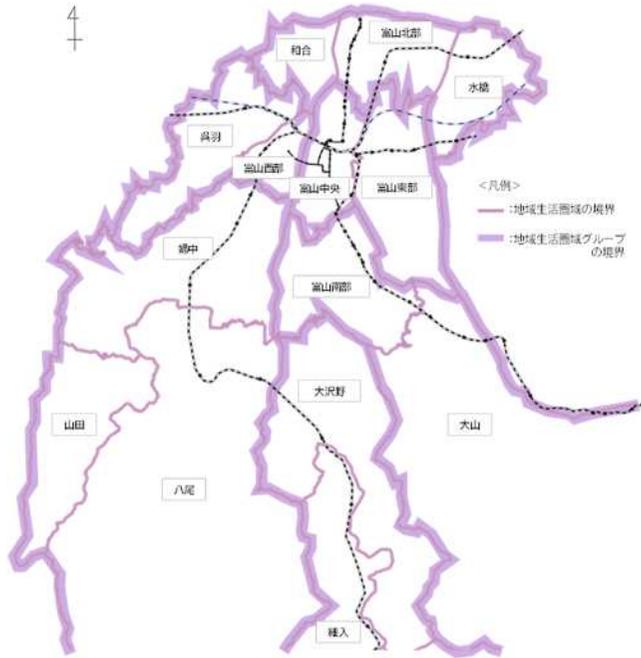


## (6) まちづくりの方針

基本方針 (4本柱)	取組方針	主な取組内容
公共交通の活性化	①まちづくりの基軸となる鉄軌道サービスのブラッシュアップ	鉄道の運行頻度の向上、分かりやすいダイヤの設定や駅機能の強化、停留場のバリアフリー化や新型車両の導入
	②鉄道事業の再構築による持続可能性の確保	交通事業者や沿線自治体と協働した、路線の再編や事業構造の変更などの鉄道事業の再構築
	③鉄軌道を補完する幹線バス路線の機能強化	幹線バス路線における運行頻度の向上、ノンステップバスの導入、バス停上屋の設置などによる機能強化
	④公共交通軸へのアクセス性や接続性の向上	駐輪場やパーク・アンド・ライド駐車場の充実、駅へのアクセス道路の改善、公共交通をシームレスにつなぐ運賃設定やダイヤの接続改善による環境整備
	①市民生活を支えるバス路線のサービス維持	国や県と連携した生活バス路線の維持
	②地域特性に応じた最適なモビリティサービスの提供による生活の足の確保	市営コミュニティバスなど、地域特性に応じた最適なモビリティサービスの提供、地域が主体となった自主運行バスの運営や検討に対する支援等を通じた市民生活の足の確保
	③デジタル技術を活用した 使いやすく外出を促す公共交通サービスの充実	郊外や中山間地域におけるデジタル技術を活用した効率的な運行 交通事業者等と連携した分かりやすい公共交通や地域資源の情報発信、新たな運賃政策やMaaSアプリの活用
	④公共交通の担い手不足の改善に向けた取組の推進	交通事業者と連携した担い手確保に向けた情報発信等の取組み、新技術を活用した人材不足の改善検討
公共交通志向型居住の推進	①公共交通志向圏域における居住環境の整備・保全	既成市街地内の利活用促進、車に過度に依存しない意識啓発、公共交通の利用促進に向けた取組み
	②既存ストックの利活用による 公共交通が便利な圏域の居住密度の維持	既成市街地での空き家・空き地の増加に対し、中古住宅など既存ストックの取得や利活用、流通促進の支援による住替えを促進
	③多様な暮らし方ができる居住環境の整備	郊外や中山間地域における地域特性に応じた最適なモビリティサービスの提供による市民生活の足の確保、既成市街地や既存集落における建物や土地の活用・適正管理
中心市街地をはじめとした拠点の形成	①本市の“顔”としての役割を担う都心地区の活性化	官民の投資により市街地を更新し魅力を創出、人中心のウォーカブルな都市空間や高質な都市景観の創出、都心コアエリアでは、官民の投資・連携及び市街地整備の推進
	②多くの市民が訪れ、活発な交流が生まれる 副次都市拠点の形成	市街地整備手法を活用した既存の都市機能や市街地の更新、人中心のウォーカブルな都市空間や高質な都市景観の形成、交流を促す機能や災害時の拠点機能を配置
	③市民の日常生活を支える生活拠点の形成	用途地域の見直しや都市計画の柔軟な運用等による日常生活に必要な都市機能の更新、民間投資による住宅供給等の推進、駅・バス停と都市機能の回遊性の向上
	④豊かな都市活動を育む特色ある地域拠点の形成	既にある機能を維持、歴史的な環境と調和した街並みの誘導や修景、生産環境や施設の保全、民間投資による宿泊・観光施設などの立地、わかりやすい案内環境の整備
都市マネジメントの推進	①社会インフラの計画的かつ効率的な更新等による必要な機能と安全性の確保	予防保全や長寿命化、優先順位の考えに基づく管理水準の適正化や新たな仕組みの導入 計画的かつ効率的な維持補修・更新
	②災害リスクの回避と低減による防災・減災まちづくりの推進	災害履歴やハザードマップなどで顕在化するリスクを踏まえた土地利用や施設整備
	③国内外とつながる都市間や拠点間の 人流・物流ネットワークの機能強化	新幹線や特急・貨物列車など「広域鉄道」、物流トラック等の運行基盤を担う「高速道路」や「幹線道路」、国内外の玄関口となる「空港」や「富山港」の整備促進と機能強化
	④豊かな営農環境や自然環境の適切な維持・保全	既存集落の拡大抑制等による営農環境の維持と優良な農地の保全
	⑤自然と調和したレクリエーションの場の形成	市民に親しまれる安全・快適な都市公園づくり、緑豊かな潤いある生活環境とレクリエーションの場の形成
	⑥良質で特色ある富山らしい眺望景観の 保全や魅力ある都市景観の形成	立山連峰などの眺望景観の保全、都心地区での良質な都市景観の形成、歴史的な街並みや建物の保全や修景による歴史文化の深みがある都市景観の育成
	⑦市街地の拡大抑制を前提とした 市民主体の既成市街地の利活用	市街地の拡大につながる新たな市街地整備を抑制、市民等が主体となった既成市街地の利活用や更新の促進

①地域の区分

本市を14の地域に区分し、市民の生活行動（買い物、通勤・通学や通院）を参考に、つながりが強い地域をグループとして整理します。

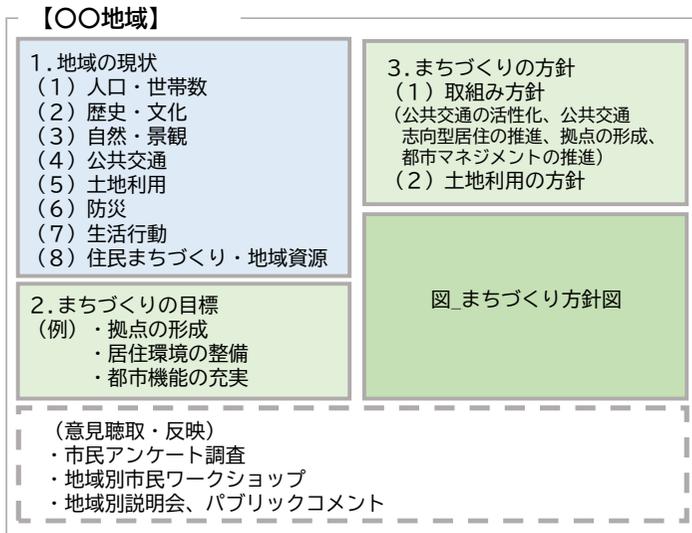


②役割と構成

地域別構想は、次の2つの役割が期待されます。

- ①行政施策の地域別指針として、主に地域の都市基盤整備の基本方針としての活用
- ②地域住民のまちづくり活動の基本的な指針としての活用

地域別構想の構成は以下となります。



第1章 富山中央地域

【地域のつながり】\_富山中央、富山東部

<地域の現状>

多様な都市機能が集積しており、富山駅周辺では南北一体的なまちづくりが進められているほか、地域内には、LRTが走る都市景観や歴史文化施設、松川などの地域資源が多数立地している。

<まちづくりの主な取組方針>

【公共交通】

- ・富山駅を起点とした鉄軌道等の活性化
- ・富山駅周辺の交通結節機能の強化

【居住推進】

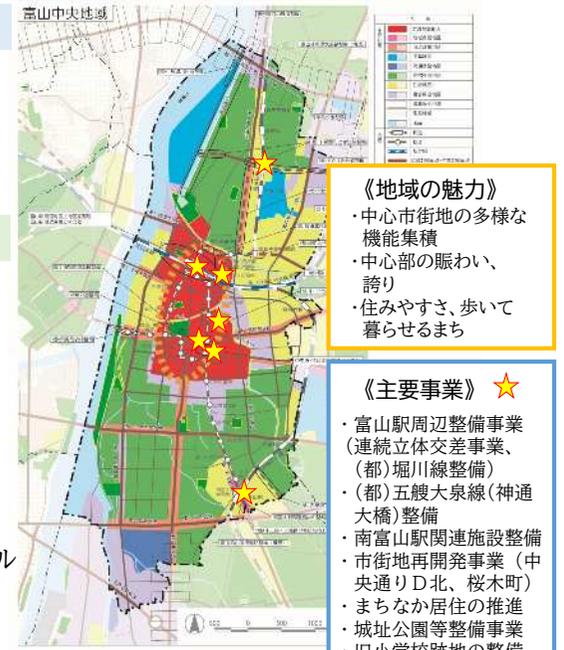
- ・都心地区と沿線での居住誘導と市街地整備事業等による居住環境整備、既成市街地の空家・空地の活用、適正管理の推進

【拠点形成】

- ・都心コアを中心に官民投資や公有地活用による都市更新と機能整備、ウォークラブルなまちづくり等による都心地区の形成

【都市マネジメント】

- ・水と緑の資源を活かした都心空間形成
- ・老朽化した社会インフラの適正な更新



《地域の魅力》

- ・中心市街地の多様な機能集積
- ・中心部の賑わい、誇り
- ・住みやすさ、歩いて暮らせるまち

《主要事業》★

- ・富山駅周辺整備事業(連続立体交差事業、(都)堀川線整備)
- ・(都)五艘大泉線(神通大橋)整備
- ・南富山駅関連施設整備
- ・市街地再開発事業(中央通りD北、桜木町)
- ・まちなか居住の推進
- ・城址公園等整備事業
- ・旧小学校跡地の整備

第2章 富山北部地域

【地域のつながり】\_相合、富山北部、水橋

<地域の概況>

身近な水辺空間を活かした観光資源が豊富であり、岩瀬地区では歴史的町並みが形成されているほか、市民の憩いの場である公園やスポーツ施設が多数集積する地域である。

<まちづくりの主な取組方針>

【公共交通】

- ・あいの風とやま鉄道線や富山港線の活性化
- ・都心部や鉄軌道駅へのアクセスを支えるフィーダーバスや主要なバス路線の維持

【居住推進】

- ・沿線での居住誘導と岩瀬の街並み等の資源を活かした既成市街地の空家・空地の活用、適正管理の推進

【拠点形成】

- ・日常生活に必要な機能の維持更新と歴史文化資源やエコタウン等の観光・産業・レクリエーションの場を活かした生活拠点の形成

【都市マネジメント】

- ・地域内幹線道路ネットワークの充実
- ・海岸環境の保全及び海岸保全施設の整備



《地域の魅力》

- ・海の観光資源
- ・岩瀬を中心とした歴史文化資源
- ・公共交通の利便性の良さ、住みやすさ

《主要事業》★

- ・フィーダーバスなどの維持、活性化への支援
- ・(都)東岩瀬線、(都)東富山駅前線、(都)富山高岡8号バイパス線(豊田新屋立体交差事業)整備
- ・下富居公園、森公園整備
- ・歴史的街並み景観の形成

### 第3章 和合地域

【地域のつながり】\_和合、富山北部、水橋

#### <地域の概況>

臨海部には工場と企業団地が立地し、南側一帯は豊かな田園環境を有する地域で、富山港線と接続するフィーダーバスが運行しており、市民生活は、富山北部とのつながりがある。

#### <まちづくりの主な取組方針>

##### 【公共交通】

- ・都心部へのアクセスを支えるフィーダーバスや主要なバス路線の維持

##### 【居住推進】

- ・沿線での居住誘導と既成市街地の空家・空地の活用、適正管理の推進

##### 【拠点形成】

- ・既存の生活機能の維持と八重津浜海岸などでのレクリエーションや漁港などの生産活動と連携した地域拠点の形成

##### 【都市マネジメント】

- ・海岸環境及び河川環境の保全
- ・豊かな営農環境の維持や自然環境の保全



### 第5章 富山西部地域

【地域のつながり】\_富山西部、呉羽

#### <地域の概況>

西側に呉羽丘陵を有する自然豊かな地域であり、歴史文化資源が多数集積するほか、富山大学をはじめとした教育施設や五福公園を中心としたレクリエーション施設が立地している。

#### <まちづくりの主な取組方針>

##### 【公共交通】

- ・J R高山本線や路面電車の活性化
- ・都心部を結ぶ主要なバス路線の維持

##### 【居住推進】

- ・沿線での居住誘導と既成市街地の空家・空地の活用、適正管理の推進

##### 【拠点形成】

- ・生活に必要な機能の維持更新と学術や産学官施設、公園等のレクリエーションの場が連携した副次都市拠点の形成

##### 【都市マネジメント】

- ・呉羽丘陵一体の良好な緑地景観の保全
- ・都市近郊農地の営農や多面的活用の推進



### 第4章 呉羽地域

【地域のつながり】\_富山西部、呉羽

#### <地域の概況>

東側に呉羽丘陵を有する自然豊かな地域であり、自然、歴史文化を活かしたレクリエーション拠点の整備が進められているほか、呉羽駅周辺では、芸術文化拠点の形成や居住環境整備が進んでいる。

#### <まちづくりの主な取組方針>

##### 【公共交通】

- ・あいの風とやま鉄道線の活性化や都心部を結ぶバス路線及び生活の足としての公共交通の維持、呉羽駅アクセス環境の改善

##### 【居住推進】

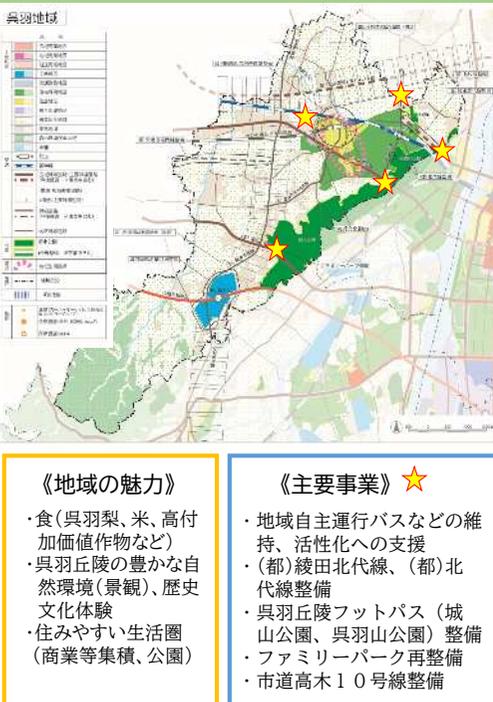
- ・沿線での居住誘導と呉羽駅周辺の居住環境整備や既成市街地の空家・空地の活用、適正管理の推進

##### 【拠点形成】

- ・日常生活に必要な機能の維持更新と芸術文化施設、呉羽丘陵等のレクリエーションの場を活かした生活拠点の形成

##### 【都市マネジメント】

- ・地域内幹線道路ネットワークの充実
- ・I Cを活かした産業の誘導
- ・呉羽丘陵一体の良好な緑地及び景観の保全



### 第6章 富山南部地域

【地域のつながり】\_富山南部、大山

#### <地域の概況>

富山I Cや空港が立地し、広域交通網の拠点であり、スポーツ交流や健康増進の拠点である大規模公園があるほか、南部一帯は良好な田園環境や豊かな自然環境が広がる地域である。

#### <まちづくりの主な取組方針>

##### 【公共交通】

- ・不二越・上滝線の活性化と南富山駅の交通結節機能の強化
- ・都心部を結ぶ主要なバス路線及び生活の足としての公共交通の維持

##### 【居住推進】

- ・沿線での居住誘導と既成市街地の空家・空地の活用、適正管理の推進

##### 【拠点形成】

- ・生活に必要な機能の維持更新や高校等の既存施設の活用、南富山駅での都市機能の充実等による副次都市拠点の形成

##### 【都市マネジメント】

- ・空港やI Cなどの広域交通機能の充実
- ・豊かな営農環境の維持や自然環境の保全



第7章 富山東部地域

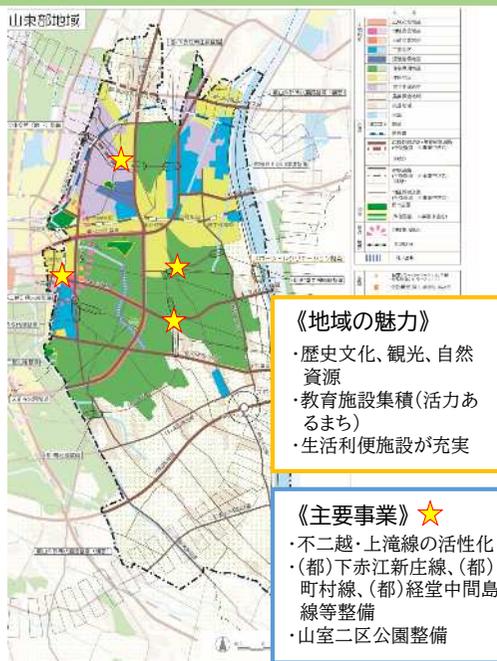
【地域のつながり】\_富山中央、富山東部

<地域の概況>

人口が最も多く、今後も世帯数が増加し、多様な都市機能の集積、鉄道や幹線道路整備など恵まれた交通ネットワークを有するほか、豊かな水資源と文化を伝える歴史資源が立地する地域である。

<まちづくりの主な取組方針>

- 【公共交通】
  - ・あいの風とやま鉄道線、地鉄本線及び不二越・上滝線、幹線バス路線の活性化、都心部を主要なバス路線の維持
- 【居住推進】
  - ・沿線での居住誘導と新富山口駅周辺の住環境整備、既成市街地の空家・空地の活用、適正管理の推進
- 【拠点形成】
  - ・生活に必要な機能の維持更新とレクリエーションの場等が連携した副次都市拠点の形成
- 【都市マネジメント】
  - ・地域内幹線道路ネットワークの充実
  - ・豊かな営農環境の維持や自然環境の保全



第8章 水橋地域

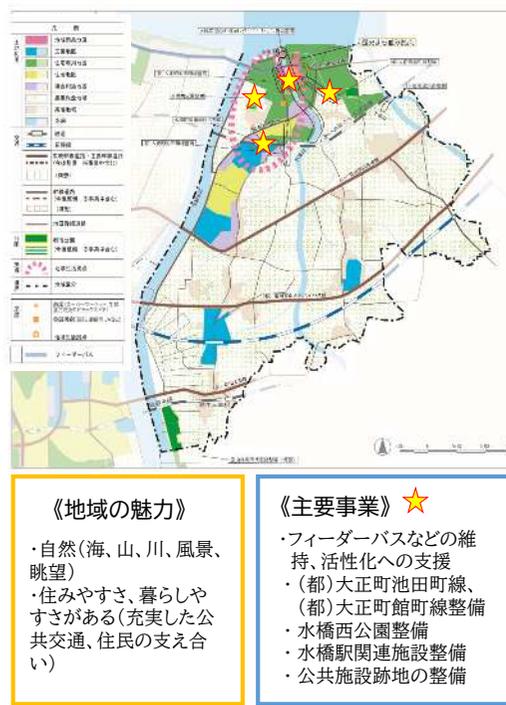
【地域のつながり】\_和合、富山北部、水橋

<地域の概況>

漁港や寺社が立地する港町の街並みを形成し、沿岸部では海洋レクリエーション拠点や温泉施設が集積するほか、水橋駅南では小中一貫校の整備やスマート農業の導入に向けた圃場整備が進んでいる。

<まちづくりの主な取組方針>

- 【公共交通】
  - ・あいの風とやま鉄道線や地鉄本線の活性化
  - ・都心部を結ぶ主要なバス路線及び生活の足としての公共交通の維持
- 【居住推進】
  - ・沿線での居住誘導と水橋駅周辺の住環境整備、既成市街地の空家・空地の活用、適正管理の推進
- 【拠点形成】
  - ・既存の生活機能の維持と旧市街地における歴史的な街並み、漁港等の生産活動の場を活かした地域拠点の形成
- 【都市マネジメント】
  - ・幹線道路ネットワークの充実
  - ・海岸環境及び河川環境、営農環境の保全



第9章 大沢野地域

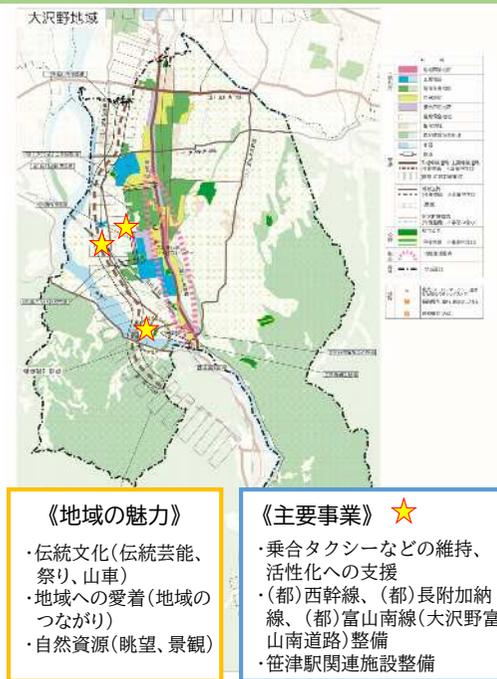
【地域のつながり】\_大沢野、細入

<地域の概況>

神通川沿いの南北に長い地域であり、神通峡を中心とした温泉施設とアウトドア施設が集積するほか、史跡が点在し、歴史文化資源の拠点が形成されるとともに、豊かな田園地帯が広がっている。

<まちづくりの主な取組方針>

- 【公共交通】
  - ・JR高山本線や幹線バスの維持や活性化
  - ・都心部を結ぶ主要なバス路線及び生活の足としての公共交通の維持
- 【居住推進】
  - ・沿線での居住誘導と既成市街地の空家・空地の活用、適正管理の推進
- 【拠点形成】
  - ・生活に必要な機能の維持更新と地域独自の歴史文化、観光等の既存施設、自然環境等と連携した生活拠点の形成
- 【都市マネジメント】
  - ・幹線道路ネットワークの充実
  - ・豊かな営農環境の維持や自然環境の保全



第10章 大山地域

【地域のつながり】\_富山南部、大山

<地域の概況>

大部分が山地の自然豊かな地域で、充実した観光、レクリエーション資源や砂防堰堤、合口用水などの貴重な文化遺産があるほか、富山国際大学を中心とした学術文化拠点が形成されている。

<まちづくりの主な取組方針>

- 【公共交通】
  - ・不二越・上滝線の維持や活性化、都心部を結ぶ主要なバス路線及び生活の足としての公共交通の維持
- 【居住推進】
  - ・沿線での居住誘導と既成市街地の空家・空地の活用、適正管理の推進
- 【拠点形成】
  - ・既存の生活機能の維持と旧街道や山岳地の歴史文化や自然、大山研究学園都市などの学術機能と連携した地域拠点の形成
- 【都市マネジメント】
  - ・地域内幹線道路ネットワークの充実
  - ・豊かな営農環境の維持や自然環境の保全



第11章 八尾地域

【地域のつながり】\_八尾、婦中、山田

<地域の概況>

おわら風の盆をはじめとする伝統文化や歴史的な街並み景観を有するほか、西側の一団の工業団地が雇用の場を創出し、南部に広がる山林では、自然を活かしたスポーツ、レジャー施設が集積している。

<まちづくりの主な取組方針>

【公共交通】

- ・JR高山本線の維持や活性化、都心部を結ぶ主要なバス路線及び生活の足としての公共交通の維持

【居住推進】

- ・沿線での居住誘導、古い町並みなど既存市街地の空家・空地の活用、適正管理の推進

【拠点形成】

- ・既存機能の維持とおわら風の盆をはじめとした歴史ある文化や観光等の資源や施設と連携した地域拠点の形成

【都市マネジメント】

- ・井田川を軸とした河川空間の緑の保全
- ・豊かな営農環境の維持や自然環境の保全



第13章 山田地域

【地域のつながり】\_八尾、婦中、山田

<地域の概況>

豊かな自然環境に恵まれた地域であり、自然を活かした大規模なレクリエーション施設や棚田の原風景が残るほか、雄大な眺望景観が大きな特徴です。また、市民の日常生活では、婦中や八尾地域との結びつきが強い地域です。

<まちづくりの主な取組方針>

【公共交通】

- ・都心部(鉄軌道)へのアクセスや生活の足としての公共交通の維持

【居住推進】

- ・既存集落の利活用と空家・空地の適正管理の推進

【拠点形成】

- ・温泉などの既存施設、豊かな自然環境や農作物等と連携した地域拠点の形成

【都市マネジメント】

- ・棚田景観等の豊かな自然環境や景観の保全
- ・山間地での砂防対策や地滑り対策の推進



第12章 婦中地域

【地域のつながり】\_八尾、婦中、山田

<地域の概況>

高齢化率が低く、今後も世帯数が増加する地域で、多様な都市機能の集積、鉄道や幹線道路整備など恵まれた交通ネットワークを有するほか、遺跡や景勝地など歴史文化資源が立地している。

<まちづくりの主な取組方針>

【公共交通】

- ・JR高山本線の維持や活性化、都心部を結ぶ主要なバス路線及び生活の足としての公共交通の維持

【居住推進】

- ・速星駅周辺の居住環境整備や沿線での居住誘導、既成市街地の空家・空地の活用、適正管理の推進

【拠点形成】

- ・速星駅周辺の店舗や大規模商業施設等をはじめとした生活に必要な機能の維持更新と機能の充実による生活拠点の形成

【都市マネジメント】

- ・浸水対策の推進による居住環境の整備
- ・豊かな営農環境の維持や自然環境の保全



第14章 細入地域

【地域のつながり】\_大沢野、細入

<地域の概況>

神通峡を有する自然豊かな地域であり、自然を活かした大規模なレクリエーション施設や史跡が点在する一方、高齢化率が最も高いことが特徴です。また、市民の日常生活では、大沢野地域との結びつきが強い地域です。

<まちづくりの主な取組方針>

【公共交通】

- ・JR高山本線の維持や活性化による生活の足の確保

【居住推進】

- ・既存集落の利活用と空家・空地の適正管理の推進

【拠点形成】

- ・キャンプ場や温浴施設などの既存施設、旧街道の歴史や文化、自然環境等と連携した地域拠点の形成

【都市マネジメント】

- ・神通峡や飛騨山地に連なる森林などの豊かな自然環境や景観の保全



8月 1日 計画(素案)に対する各所属(庁外を含む)照会

8月19日(本日) 第5回 都市マスタープラン検討委員会

8月26日 富山市都市計画審議会(中間報告)

9月22日～10月10日のうち6日間 地域別説明会

開催日	地域	会場(予定)
9月22日(月)	富山西部・呉羽	富山大学黒田講堂
9月25日(木)	富山南部・大山	富南会館
9月26日(金)	大沢野・細入	大沢野会館
10月1日(水)	富山中央・富山東部	まちなか総合ケアセンター
10月6日(月)	婦中・八尾・山田	婦中行政サービスセンター
10月10日(金)	和合・富山北部・水橋	岩瀬カナル会館

10月末 計画(案)の作成

12月中旬  
～1月中旬 パブリックコメントの実施(3週間程度)

1月下旬 第6回 都市マスタープラン検討委員会

2月下旬 富山市都市計画審議会への付議

3月末 計画の策定・公表